

回覧

荻野地区地域福祉
推進委員会だより

やまびこ

編集・発行
荻野地区地域福祉推進委員会
事務局：荻野地区市民センター
TEL (241) 1030

地域福祉

推進委員会

委員長 伊藤重文

残暑御見舞

申し上げます。

連日発表される熱中症警戒アラートの中、行動も制限されていることと思います。皆様

お元気でお過ごしでしょうか？最近、当地区に於いても、数件の詐欺事件が発生しています。自分は絶対だまされないと、つい息子や孫を語られると、気持ちが動転してしまい、あつという間にだまされて高額な老後資金を失ってしまうことになるようです。気をつけましょう。

さて、厚木市第七次地域福祉活動計画が策定されました。「見守り」「つながり」「支え合い」「一人一人が尊重される地域づくりを基本理念に掲げています。

当地区としても、年々増加する高齢者に交流を深め、見守り活動や居場所づくりをするかが重要になっていきます。行政や関係機関等と連携を図りながら一歩ずつ推進してまいりたいと思います。

各地域の民生委員さんをはじめ、自治会長さん、しあわせクラブの会長さんには大変お世話になりありがとうございます。深く感謝申し上げます。

総務部会

部長 棚橋俊之

総務部会は、皆様のご協力・ご支援のもと、今年度前半の予定事業を計画どおりに実施しています。

・子育てサロン『ひなたぼっこ』の開催
毎月第三火曜日午前
に鳶尾児童館にて開催。

6月は残念ながら当日が大雨のため、初めて参加者無しでしたが、他の月は昨年度以上にご参加いただき、お子さんたちの遊びの場とともに、保護者の方々の交流の場となっております。

・ひとり暮らし老人登録された方への訪問対話
7月に実施。猛暑が続く中でしたが、民生委員の方々が、登録者宅に慰問品を持って訪問し、お話しをさせていただきました。

ボランティア部会

部長 加藤修

地域福祉推進委員会の役割は、荻野の地域住民が支え合い、安心して生き生きと暮らせる街づくりのための地域福祉活動を推進することです。

ボランティア部会は、発足以来、地域福祉向上の一手段として、地域内の各種ボランティア団体相互の連携と情



(子育てサロン)

たいと思います。

報交換を目的としたボランティア連絡会活動やボランティアの育成、啓発を目的に講演会や研修会活動を担当しています。

また、各ボランティア団体の活動をより円滑に進めていただくために、助成金の交付を実施しています。これらの部会活動も発足以来15年が経ちました。各ボランティア団体との情報交換を密にし、荻野地区の地域福祉の向上にさらに貢献できるように活動してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。



(ボランティア連絡会)

サービズ部会
部会長 升田恒明

サービズ部会の令和6年度事業は、「ミニ茶話会」と「小さなまごころお届け隊」です。ミニ茶話会は6月から来年の2月までに10回、小さなまごころお届け隊は11月に実施します。

30人前後の参加者がありました。まつかけ台地区は、公民館への直接申し込みが17人もあり、回覧の効果が思ったかなと思います。小さなまごころお届け隊は、65歳以上のひとり暮らし登録の方へ、安否確認を兼ねてお届け物をする事業ですが、スープなど簡単に調理できるお届け物を準備したいと思います。

ミニ茶話会では、厚木市地域包括ケア推進課講師によるシニアの元気アップ講座とウクレレ演奏や腹話術、日本舞踊などのアトラクションを実施します。今年「荻野だより」に加えて、お知らせの回覧でミニ茶話会の認知度を上げ、参加者の増加を目指しました。現在、6月（新宿地区2回）と7月（まつかけ台地区）に65歳以上の方を対象にミニ茶話会を実施しました。新宿地区では寿会のお力添えもあり、2回とも



健康部会
部会長 伏見鉄男

健康部会では、スポーツ大会（グラウンドゴルフ・ターゲットパードゴルフ）が5月17日・18日と開催され、多くの方々のご参加をいただき、盛況のもと終了しました。

また、介護予防体操教室は、講師の先生をお迎えして毎月開催しております。

要介護状態への予防として、健康を保ち、自立した生活を続けるためには、心と体を活発に働かせる介護予防の取り組みが必要です。心と体の健康を維持するためには、「人とつながること」「地域社会に参加すること」も大切です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。まだ残暑がことのほか厳しき折、皆様におかれましては、くれぐ

れも健康にお気を付け下さい。



カルチャー部会
部会長 大谷 彰

今年度も地域の皆様楽しんで戴ける催しに第一弾として、昨年に引き続き「荻野落語会」を林家一門の「林家たけ平」さんをお迎えし、6月16日(日)に開催しました。

「荻野落語会」も恒例となり、今回は参加者数が76名、前回より20名増えました。「林家たけ平」さんは、今までお迎えした落語家と少し違い、会場の雰囲気や参加者の年齢層、男女比等をみて演目を判断すると説

明されていきました。そのため、今回は冒頭に世情を笑いにし、会場を何度も爆笑させた後、2席の落語を披露されました。

(編集後記)
広報部会
部会長 三栖寛美

今年の夏は本当に暑い。熱中症が他人事と思っていたら、我が身に降りかかった。病気で寝込むなど無かっただけに、怖さを身にしてみて感じた。日本も亜熱帯から熱帯に変わっていくのかもしれない。*

皆様のご健康をお祈りし、編集後記とさせていただきます。

